

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	臨床病期 0-I 非小細胞肺癌に対する肺葉切除と区域切除後の広背筋・腸腰筋の経時的変化の相違性の検討
	研究目的	近年発表された早期原発性肺癌（非小細胞肺癌）に対する区域切除と肺葉切除とのランダム化比較試験（JCOG0802 試験）の結果では、一部の早期原発性肺癌に対しては、肺区域切除が肺葉切除よりも術後予後を改善しました。その理由は区域切除が肺葉切除よりも患者さんにとってより低侵襲であるため、肺癌以外の死亡の発生率が少なかったことが一因と考えられています。しかし、実際に区域切除を受けた患者さんと肺葉切除よりも患者さんと間にどのような身体的な差が生じるかについてはいまだわかっておりません。 今回我々は肺区域切除術と肺葉切除術を受けた患者さんの筋肉量を比較し、区域切除術が肺葉切除術よりも、筋肉量の変化の点から低侵襲といえるかどうかを検討します。区域切除術または肺葉切除術を受けた患者さんが定期的に撮影した CT を用いて、広背筋および腸腰筋の筋肉面積を測定します。両術式間の経時的な筋肉量の変化を比較することで、区域切除群が筋肉量の変化の点から低侵襲といえるかどうかを立証いたします。
	研究対象者	2016 年 1 月から 2018 年 12 月に当センター呼吸器外科にて臨床病期 0-I 原発性肺癌（非小細胞肺癌）に対して区域切除または肺葉切除を行った患者さんのうち、当院で術後に CT フォローされている患者さんが対象となります。
	研究期間	西 暦 2 0 2 2 年 8 月 2 2 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		☐ 血液 ☐ だ液 ☒ 臨床検査データ ☐ 病理組織 ☐ 排泄物（尿・便） ☐ その他（記載して下さい） ☐ 毛髪 ☒ 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当 セ ン タ ー 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・呼吸器外科・伊坂哲哉・ 045-520-2222 (内線 5954)